

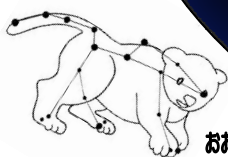
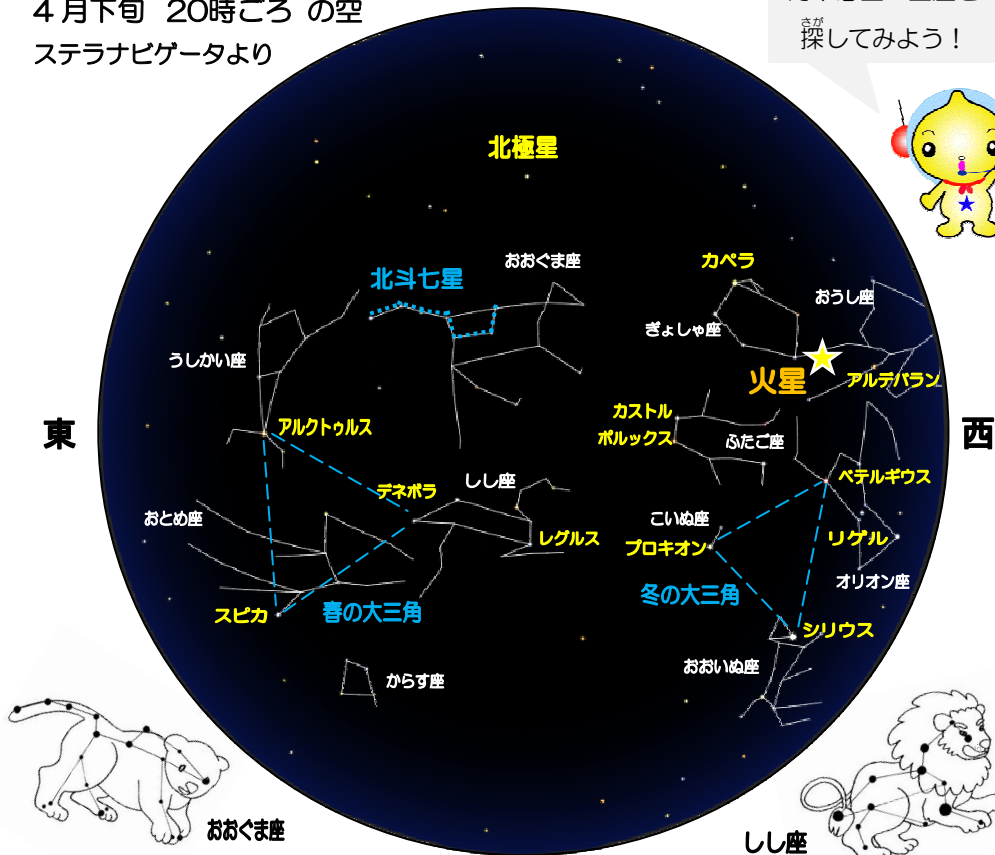
月刊★星空の散歩道 4月号

2021年

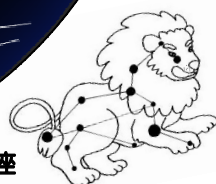
4月上旬 21時ごろ
4月下旬 20時ごろの空
ステラナビゲータより

北

つき わくせい せいざ
月や惑星・星座を
さが探してみよう！



おおぐま座



しし座

4月の星空

☆宵空の主な星座と明るい星☆

西の空に冬の星座、東の空に春の星座が見える。

- | | |
|--------|--|
| < 西 > | おうし座 (アルデbaran)、ぎょしゃ座 (カペラ)
ふたご座 (カストル、ポルックス)、おりオン座 (ベテルギウス、リゲル)
おおいぬ座 (シリウス)、こいぬ座 (プロキオン) |
| < 天頂 > | しし座 (レグルス、デネボラ) |
| < 東 > | うしかい座 (アルクトゥルス)、おとめ座 (スピカ) |
| < 北 > | 北極星、おおぐま座 |

☆天文トピック☆

4月6～8日 月と木星と土星がならぶ

明け方、南東の空、低い所に木星と土星がならんで輝いています。6～

8日は近くに月がある

ため、目印に探すと見つけやすいです。



4月17日 月と火星が接近

双眼鏡などを使ってみると、2天体がひとつの視野に入るほど近づきます。暗くなってすぐの時間よりも、月が沈む前の22時ごろの方が2天体がいり近づいて見えます。

<天文コラム> 持ち帰れるか？注目の火星探査

2021年2月19日、NASA（アメリカ航空宇宙局）の火星探査機「パーサヴィアランス」が着陸に成功しました。

火星は、太陽の周りを回る太陽系惑星のひとつで、その昔、生き物がいたのではありませんかと考えられています。「パーサヴィアランス」は、本当に生物がいたのか、また暮らせる環境があったのか、その痕跡を探すことを目標とし、地形や地面の成分など、主に地質について詳しく調べます。この探査機は、「ローバー」と呼ばれる種類で、車のように地面の上を移動することができるため、その機動力を活かして、火星の様々な場所で調査を行う予定です。

最終的には火星の岩石を採取し、地球に届ける計画となっています。このように、地球以外の物質を地球に持ち帰り調べることを「サンプルリターン」と呼びます。過去には、アメリカの「アポロ」が採取した『月の石』や、日本の探査機「はやぶさ」「はやぶさ2」が持ち帰った『小惑星の砂』などがありますが、惑星のものはまだ成功したことがありません。

「パーサヴィアランス」が行うのは、火星の岩石を採取するところまでで、地球に持って帰るのはESA（欧州宇宙機関）の探査機が行う予定となっています。国を超えたこの大きなミッションに世界中が注目をしているのです。



伊丹市立こども文化科学館 発行日 2021年3月20日

〒664-0839 兵庫県伊丹市桑津3丁目1-36 TEL: (072) 784-1222

HP: <http://business4.plala.or.jp/kodomo/>

